

自分勝手な行動をする男子小学生の事例

1. 主訴 粗暴行為

2. 対象 小学校5年, 男子

3. 問題の概要

小学校入学以来, 次のような学校生活が現在まで続いている。

- 授業が始まって席につかない。
 - 授業中, おしゃべりをする, 周囲へいたずらをする, 奇声を発する。
 - 解答を書かないテスト用紙を提出する。
 - ノートをめちゃくちゃに使用する。
 - 朝の掃除をさぼる。
 - 休み時間や放課後など, 遊び仲間を扇動し, 力の弱い子や女の子にいやがらせをして, 泣かせたりする。
 - 些細なことにすぐカッとして, 物を投げたり, 足で踏んで壊したりする。
- これらの行動について, 教師から注意を受けるが, それを無視して自分勝手な行動をする。

4. 資料

(1) 生物的次元

● 身体的特徴

出産は正常分娩。1～2歳にかけて4回ほど肺炎にかかり高熱が続き, ひきつけを起こした。4回目には医者から生命を危ぶまれるほど症状が悪化し, 入院をしたことがあった。また, はしか, 腎炎, 気管支炎などの既往歴があり, かぜなどにかかると扁桃腺がはれやすい。

(2) 心理的次元

● 知的発達

小学校2年生時知能偏差値58, 4年生時63であるが, 2年生の学習の評定は全教科2であり, 第5学年1学期の成績は, 図工の評定が3, それ以外の教科は2である。

具体的には, かけ算が十分に身につけていないので, 現在学習している計算の理解が困難である。また, 国語の長文読解も苦手としており, 内容の要約に抵抗を示す。

● 性格・行動

指導要録によれば次のような特徴を示している。

- きまりを守れない
- いじわるをする
- 身のまわりの整理ができない
- すぐ怒りやすい
- 責任感がない

● 交友関係

遊び仲間の7人と行動をともにすることが多い。

5月に実施したソシオメトリーによれば,

男子から	被選択	5	被排斥	5
女子から	"	0	"	4

となっている。

男子からは, 好かれていることと敬遠されていることの二面性がある。しかし, 女子からは一方的にきらわれていることがわかる。

● 運動・行動

幼児期から, よく動きまわったり, 落ち着きがなく, 親が面倒を見るのに大変苦労した。幼稚園でもまわりの子供たちに合わせた行動ができなかった。現在, 学校ではサッカーなどの大きな動きを要するものは, 他の子供と同じ程度の能力を示すことができる。しかし, マット, 跳び箱, 鉄棒などの器械運動ではぎこちなさが見られる。また, リズム運動などでは, スキップやこまかなステップがよくできず, グループのメンバーから教えてもらうことが多い。